
開講科目名：国際政治学研究（A）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：定形 衛

《授業の概要》

【授業の目標】

1990年代以降、国際政治は冷戦後の時代となり、また2001年のアメリカにおける同時多発テロ事件はとくにテロ後の時代と認識されてきた。またこの時代はグローバル化時代ともよばれ、国際政治、経済、社会の多元化と同時に一体化が進んできた時代である。授業では、こうした時代背景を理解するとともに、そこにおける日本の位置と、なすべき役割について考えていくことを目指す。

【授業の概要】

グローバル化時代とよばれる現代の国際社会の様々な側面を理論的、歴史的に考察したい。グローバル化時代の戦争と平和、経済のグローバル化と貧困、グローバル化時代の人の移動、など私たちを取りまく諸問題について議論を深めたい。

【授業計画】

- 1 国際政治学概論：国際政治の歴史
- 2 国際政治学概論：国際政治の理論
- 3 冷戦後の国際社会の特徴とグローバル化社会の課題
- 4 冷戦後の国際社会と日本の外交政策
- 5 テロ後の国際社会の特徴とグローバル化社会の変容
- 6 テロ後の国際社会と日本の外交政策
- 7 グローバル化社会と日米関係の再構築
- 8 アメリカの世界戦略と日米同盟の変容
- 9 国連の平和維持活動と日本の役割
- 10 集団的自衛権をめぐる日米関係
- 11 日本の対外援助とアジアの国際政治
- 12 激動するアジアの国際政治と日本
- 13 中国の躍進と日中関係の変動
- 14 グローバル化時代の歴史問題と日本
- 15 グローバル化時代と日本外交への役割期待

【評価方法】

毎回の授業内容と議論についての小レポートの提出を課するとともに、教員と受講者の相互討論などを加味して総合的に評価する。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考書》

授業時に適宜指示する。